

5 学年部会

R6.5.8 常盤台小 田澤

【研究主題】 人の営みに学び、未来を創る子どもが育つ社会科教育

【研修会主題】 学んだことを社会や生活に生かす子どもが育つ学習過程のあり方

【研修会主題に迫るための視点】

<p>視点① 子どもが自ら 問いを見だし、 主体的に学び 続けることが できる単元づくり</p>	<p>①学習問題を追究し続けることができるように、具体的な事例や資料、体験の選定をする。</p> <p>具体的事例を選定する際には、子どもたちの今までの経験、実態を踏まえた上で、我が国の実態や課題が分かる社会的事象かを考える。その上で問いが生まれるように、社会的事象との出会いを大切にすることで、5年生の学習を子どもにとって身近なものにしていく。比較や体験活動を通じた焦点化や、今までとの違いへの気付きから「単元を見通す学習問題」をつくる。子どもたち一人ひとりの問いを大切にしながら「学習計画」を立てるとともに、子どもたちのみとりを生かし、単元における資料や体験の位置づけを考えるようにする。</p> <p>②ふり返りの視点を大切に、単元や授業をふり返ることで、子ども自身が成長を実感できるようにする。</p> <p>もっと追究したいこと(疑問)、考えが変わったこと・付け加えられたこと(変容)、自らの学習の仕方(学び方)についてふり返ることで、子ども自身が学びの深まりを実感したり、他の単元や生活とのつながりが見えたりすると考える。そのために、子どもが「何を」「どのように」ふり返るのかという「ふり返りの視点」を大切にしておく。ふり返りを基に、子どもたちの気づきや、身に付けたい力についてのみとりを単元構成の見直しや、資料の選定、学習支援の検討に生かすようにする。</p> <p>【検証方法】「指導計画と実際の流れの比較」、「学習問題と教師が示したふり返りの視点、実際に子どもが記述したふり返り」を基に主体的に学び続ける単元になっていたか検証する。</p>
<p>視点② 個を生かし、 協働的に学びを 深めることが できる授業づくり</p>	<p>①みとりを大切にすることで、子どもが根拠や理由を明確にして自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>学習問題に対して、子どもが根拠や理由を明確にして考えを表現できるように、みとりやふり返りを生かし、一人ひとりの実態に合わせた資料を提示したり、表現方法を示したりする。</p> <p>②議論したり、友達の考えや本時の資料と関連付けたりしながら、多角的に社会的事象の意味等に迫ることができるようにする。</p> <p>一人ひとりが立場を明確にして議論することで、捉え方の違いや立場による見方の違いを感じながら協働的に学びを深め、社会的事象の意味等に迫ることができるような授業を展開する。そのための手だてとして板書や発問、資料提示の仕方の工夫などをし、子どもたちの考えをつなげたり、整理したりする。</p> <p>【検証方法】「授業の冒頭・手だての前後・終末での子どもの発言を比較してみえる子どもの変容(授業記録)」と「ふり返り」を基に協働的に学びを深める姿が見られたか検証する。</p>

【5 学年部会で目指す子どもの姿】

- ・我が国の国土と産業の様子や特色について、我が国の実態や課題、具体的事例との出会いから社会的事象の見方・考え方を働かせ問いをもち、主体的に学習問題を追究していく姿。(視点①)
- ・単元や授業を通して考えの変容、もっと追究したいこと、自らの学習の仕方についてふり返ることで、学びの深まりや自らの成長を実感したり、社会生活に生かそうとしたりする姿。(視点①)(視点②)
- ・学んだことや生活経験などを生かし、根拠や理由を明確にして自らの考えを表現しながら議論したり、本時の資料や友達の意見と自らの考えを関連付けたりすることを通して、多角的に社会的事象の意味等に迫る姿(視点②)

【学習内容と学習指導要領の関わり】

<p>我が国の国土の様子と 国民生活</p>	<p>・我が国の位置や地形、気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、特色ある地域の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりしたことを基に、文章で記述したり、説明したりする姿。</p>
<p>我が国の食料生産</p>	<p>・生産性や品質を高める工夫を消費者や生産者の立場に立って多角的に考える姿。 ・情報を総合したり、食料生産と国民生活を関連付けたりして、我が国の食料生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりする姿。</p>
<p>我が国の国土の 自然環境と国民生活</p>	<p>・保護や改善に取組む人々の取組と、自然環境や国土の環境を関連付けたりして、保護や改善をしていくことの大切さを考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことを基に説明したり、根拠や理由を明確にして議論したりする姿。</p>